

第21回参議院選挙の結果について

社団法人 経 済 同 友 会
代表幹事 桜井 正光

1. 今回の結果は、年金記録問題、政治と金の問題などに対する国民の批判の現れだ
と思う。安倍政権の改革路線を支持してきた立場としては、残念な結果であるが、
安倍総理には、国民による厳しい評価を真摯に受け止め、国民の将来への不安と
政治不信の払拭に努めていただきたい。
2. この先、財政再建の試金石となる2008年度予算編成、公的部門改革、税制抜本改
革と持続可能な社会保障制度の構築など、日本の将来を左右する重要課題が山積
している。政局の混乱や政治の停滞により、これらの改革が滞るようなことがあつ
てはならない。改革の後退により、再び日本経済が停滞に陥ることを非常に懸念
している。与野党ともに、「改革なくして成長なし」という基本方針を改めて確認
し、改革の推進に向けた政策を競い合っていたいただきたい。特に安倍総理は、これ
ら改革の必要性について、改めて国民に説明をするとともに、強いリーダーシッ
プを発揮して、「小さな政府」の実現に向けた構造改革の継続・加速に全力で取り
組んでいただきたい。
3. 民主党は大躍進を遂げたが、これは主に、安倍政権に対する批判によって、国民
の共感を集めた部分が大きいのではないかと。今は、国の成長と国民の豊かさを確
かなものとするための重要な時期である。衆議院で第二党、参議院で第一党とい
う重責を担う以上、その責任にふさわしく、単なる与党批判から脱して、国民の
期待に応える国会運営を行ってほしい。そのためにも、今回の政権公約を踏まえ
て、目指す国の姿の明確化とより一層具体性・実現可能性のある政策の提示に取
り組むことが不可欠である。

以 上